

## 「大切にしたいこと」

田丸 あけみ

1月28日(日)アトム保護者会主催による、「アトム共同保育園 50周年企画」～トラブルからすべてがうまれる～が開催されました。

現理事長(元アトム共同保育所所長代理・元アトム、つばさ共同保育園園長)市原悟子氏と、現理事(元アトム共同保育園副園長)金石愛子氏を迎え、これまでのアトムの50年の歴史やアトム給食が誕生した話しなど、ぎっしりとつまった内容でした。

私は、園長をして4年目になりますが、日々「これでいいのか?今のアトムを見つめながら、何をプラスするべきか」をずっと考え続けています。

そんな中、20代の現保護者がこの会に参加した感想で「私達の世代は、人に助けてとなかなか言えないし、人との関わりも深いところでの繋がりでなく、人間関係作りも希薄なまま大人になった世代だから、なかなか本音の部分を手伝いに伝えられない」と発言していました。私はその話を聞いて、私達職員は、保護者の表現しきれない心の奥の部分にどれだけ気づいているだろうか。そして、職員もまた、保護者に助けてほしい事や、力を貸してほしいという事を伝えているだろうかと思いました。

今回のテーマである～トラブルからすべてがうまれる～という話の中で、「トラブルは、自分と違う個性を知り、違いを知るチャンスで、100人いたら100通りの個性がある。お互い自分の考えを表現すると、違いがわかる。その個性や考えは違って当たり前で、色々な個性の人を知るという事は、人理解を楽しむ事に繋がっていく。視野が狭いと、自分とは違う個性の人は合わない人、と切ってしまう。それは残念だし、もったいない。相互理解を根づかせるためには、何回も何回も自己表現しあう事が大切」という話がありました。それは、日々の保育の中で、私達がとても大切にしている事であり、大人同士のやりとりの中でも同じ様に大切にしたい事です。お互いを知り合う為には、自己表現し合わないとは分かり合えない。しかし、“人との違いを楽しむ”という事を臆することなく職員も含め、どこまで体験して感じているだろうかと考えた時、まだまだ体験が少ないがゆえ、人と違うことを恐れたり、批判されたと感じたり、自己否定したり、人と一緒ではない事を不安に思ったりする人が多いのではないのでしょうか。

「アトムが引き継がれていく中で最も重要な事は、体験という遺伝子を残す事。体験することからでしか引き継がれない事もある。」という話しも会の中でありましたが、色々な個性の人がいて、色々な考え方があるという事は、やはり、自己表現(自分の気持ちを伝える)しあう事でしか知り合えないと思うのです。今、体験したことが、すぐに理解出来なくても、何年後かに今の体験が繋がる事もあります。“みんなちがってみんないい”を体感できる人と人との関係作りをこれからも大切にしていきたいと改めて感じた会でした。

最後に今回の企画を考え実行して頂いた保護者会スタッフの皆さん本当にありがとうございました。

\*1月末で退職した職員からのメッセージです。

この度、2人目を3月に出産のため1月20日で退職させて頂きました。

去年の9月からアトムで働かせてもらって1年少し経ちますが、最初は不安や緊張でいっぱいでしたが、子どもたちの笑顔や保護者の方々の優しさ、周りの職員の方々に助けてもらいながら楽しく働くことができました。

子育てで社会から離れ孤独感を感じていた私にとって、アトムで働きだしたくさんの人たちに出会えたことで、自分自身の人生が明るく充実したように思います。保護者の皆様、職員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。短い間でしたが、ありがとうございました。

(山本知香)